

報道各位

2019年6月3日  
住友商事株式会社  
SCSK 株式会社

アクセラレータープログラム「HAX Tokyo」の立ち上げについて

住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭 誠之、以下「住友商事」）と SCSK 株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者：谷原 徹、以下「SCSK」）は、中国や米国でアクセラレータープログラム「HAX（ハックス）」およびベンチャーキャピタルを運営する SOSV Investments LLC（以下「SOSV 社」）と提携し、日本においてアクセラレータープログラム「HAX Tokyo（ハックストウキョウ）」を共同で開始します。

アクセラレータープログラムとは、革新的な技術やビジネスモデルを保有するスタートアップ企業に、新事業創出や製品開発に必要なノウハウの提供などを行い、成長を加速させる取り組みです。SOSV 社は、ハードウェア、ライフサイエンス、食品技術、クロスボーダーインターネットの 4 分野でアクセラレータープログラムを展開しており、年間約 4,000 社の応募の中から 150～200 社を採択し、成長を支援しています。HAX は、ロボティクスや IoT などのハードウェアに関連するスタートアップ企業向けに特化したプログラムで、中国の深圳（シンセン）および米国のサンフランシスコにおいて実施されています。

HAX Tokyo は、三段階で国内ハードウェア関連スタートアップ企業の育成を図ります。Stage 0 では、日本のスタートアップ企業を対象に、技術コンセプトやビジネスモデルの確立を目的とした約 3 カ月間の支援プログラムを実施します。SOSV 社がこれまでの HAX プログラムで蓄積した知見やノウハウを提供すること、住友商事グループや多様なパートナー企業が携わる事業の現場を技術検証の場として活用すること、加えて SCSK の高度な IT サービス技術を提供することなどを通じ、技術コンセプトやビジネスモデルを実用的な水準に高める支援を行います。

Stage0 を経て、Stage1「HAX 深圳」に採択された企業は、深圳においてプロトタイプ製造、デザインや量産化体制の構築に取り組みます。Stage2「HAX サンフランシスコ」に採択された企業は、サンフランシスコにおいて販売開始と米国の有力ベンチャーキャピタルからの資金調達を図るプロセスに進みます。

住友商事と SCSK は、住友商事が運営するオープンイノベーションラボ「MIRAI LAB PALETTE（ミライラボ パレット）」を HAX Tokyo の拠点とし、さまざまな人やポテンシ

ャルパートナーとの交流が可能なオフィスの提供や、大企業とのマッチング支援を行うことで、スタートアップ企業との共創領域の拡大を目指します。また、HAX Tokyo の運営を通じ、先進技術の迅速な取り込みによる SCSK、住友商事グループおよびパートナー企業の事業高度化や新たな事業創出を図り、住友商事の「中期経営計画 2020」において推進している成長戦略および、デジタルトランスフォーメーションをさらに加速させていきます。

#### <参考資料>

##### ■HAX Tokyo プログラムについて







	名称	期間	目的
Stage0	HAX Tokyo	約 3 カ月	技術コンセプト・ビジネスモデル確立
Stage1	HAX 深圳	4~8 カ月	プロトタイプ製造・量産化体制構築
Stage2	HAX サンフランシスコ	2~3 カ月	成長のための資金調達

##### ■SOSV 社および HAX プログラムについて

SOSV 社は、米国プリンストンに本社を置き、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロンドン、深圳、上海、台北など世界中の主要都市に拠点を構えています。HAX プログラムでは、ロボットやセンサー、家庭用電化製品、医療機器など、これまでに 200 社以上のスタートアップを支援しています。過去 4 年間で、SOSV 社が支援した起業家によって創業されたスタートアップの価値は 100 億ドル以上で、それらによる収益は年間約 10 億ドルを超えています。

■住友商事のマテリアリティ（重要課題）

住友商事グループは『社会とともに持続的に成長するための6つのマテリアリティ（重要課題）』を、事業戦略の策定や個々のビジネスの意思決定プロセスにおける重要な要素と位置付け、事業活動を通じて課題を解決することで持続的な成長を図っていきます。本事業は、特に「地域と産業の発展への貢献」、「快適で心躍る暮らしの基盤づくり」および「多様なアクセスの構築」に資する事業です。

6つのマテリアリティ	
	<p><b>地球環境との共生</b></p> <p>循環型社会の形成と気候変動の緩和を目指し、資源の有効利用や再生可能エネルギーの安定供給に向けた仕組みづくりに取り組むことで、地球環境と共生した成長を実現します。</p>
	<p><b>地域と産業の発展への貢献</b></p> <p>さまざまな国や地域の人々のニーズに応じてモノやサービスを安定的に調達・供給し、産業のプラットフォームづくりに貢献することで、地域社会とともに成長・発展する好循環を生み出します。</p>
	<p><b>快適で心躍る暮らしの基盤づくり</b></p> <p>毎日の生活に必要なモノやサービスを提供してより便利で快適な暮らしを実現するとともに、質の高い暮らしへのニーズにも応えていくことで、全ての人の心と体の健康を支えます。</p>
	<p><b>多様なアクセスの構築</b></p> <p>人・モノが安全かつ効率的に行き交うモビリティを高め、情報・資金をつなぐネットワークを拡大することで、多様なアクセスを構築し、新たな価値が生まれる可能性を広げます。</p>
	<p><b>人材育成とダイバーシティの推進</b></p> <p>多様なバックグラウンドを有する人材が、各々のフィールドで能力を最大限に発揮して、新たな価値や革新を生み出せるように、最重要の経営リソースである人材の育成・活躍推進に取り組めます。</p>
	<p><b>ガバナンスの充実</b></p> <p>透明性を確保しつつ、持続的な成長に向けた戦略の立案・実行およびその適切な監督を充実させることで、経営の効率性を向上し、健全性を維持します。</p>

【本件に関するお問い合わせ】

住友商事株式会社 広報部 報道チーム 糠谷・深田 TEL：03-6285-3100  
 SCSK 株式会社 広報部 栗岡 TEL：03-5166-1150